



ようこそ鷹揚郷へ

新年度を迎え、新しい職員が入職いたしました。これから皆さまにお目にかかる機会が増えます。どうぞよろしくお願い致します。以下、メッセージをお伝えします。



1病棟・看護師のE.Sです。新たな気持ちで頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



第2透析室・看護師のH.Nです。1日でも早く戦力になれるよう日々努力し頑張ります。よろしくお願い致します。



第1透析室・准看護師のM.Sです。わからないことばかりですが、早く仕事に慣れるように一生懸命頑張ります。



臨床工学士の須藤優斗(ストウユウト)です。少しでも早く業務を覚え、戦力になれるよう、頑張ります。よろしくお願い致します。

鷹揚郷・弘前病院患者友の会

3

自立生活援助	一人暮らしをしている方に対し、地域で安心して生活できるように、一定の期間にわたって定期的に自宅へ巡回訪問したり、困りごとについて電話などで対応を行います。
--------	---

【相談支援給付】

サービス名	内容
計画相談支援	特定相談支援事業所が、障害福祉サービスの利用について、総合的な方針をまとめた計画書(サービス等利用計画書)を作成し、サービス事業者等との連絡調整を行います。
地域移行支援	障害者支援施設等に入所している障がい者または精神科病院に入院している精神障がい者等を対象に、地域に移行するための活動に関する相談その他必要な支援を行います。
地域定着支援	居宅において単身で生活する障がい者等に常時の連絡体制を確保し、緊急時には必要な支援を行います。

3 サービスを利用したときの費用

利用料の定率一割負担となります(食費、光熱水費は除く)。ただし、所得に応じてある一定金額以上の負担を求めない「月額負担上限額」が設定されています。

【利用者負担の上限額】

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市民税非課税世帯	0円
一般1	市民税課税世帯	
	居宅で生活する障がい者(所得割額16万円未満)	9,300円
	居宅で生活する障がい児(所得割額28万円未満)	4,600円
	20歳未満の施設入所者(所得割額28万円未満)	9,300円
一般2	※入所施設利用者(20歳以上)、グループホーム利用者を除く 上記以外の市民税課税世帯の人	37,200円

※入所施設利用者(20歳以上)、グループホーム利用者は、市民税課税世帯の場合、「一般2」になります。

※施設に入所する場合は、その他食費、光熱水費等の実費負担があります。

【所得を判断する際の世帯の範囲】

種別	世帯の範囲
18歳以上の障がい者 (施設に入所する18、19歳を除く)	障がいがある方とその配偶者
障がい児 (施設に入所する18、19歳を含む)	保護者の属する住民基本台帳での世帯

患者友の会より③

昨年11月に予定しておりました勉強会のテーマ『福祉サービス』についての行政資料を2月号～4月号に寄稿いたします。

あくまでも市町村の政策ですので、皆様が、実際に困ったときには担当の看護師さんを通じて、ケースワーカー室にご相談くださいませう、お願いいたします。

鷹揚郷弘前病院 患者友の会 会長 木村健二

リレー寄稿

皆さん、こんにちは。

作業療法農園担当の鈴木隆之です。

まだまだコロナ禍で、家で過ごしている時間が長いかと思えます。もう4月に入って雪も解けて、すっかり春ですね。コロナが無ければ、ドライブやアウトドアを楽しみたいところです。

最近、自分が興味を持っているのは、大河ドラマです。昔放送した大河ドラマも、よく観ています。**八重の桜**、**龍馬伝**、**西郷どん**、などが好きで観ていました。八重の桜を放送していた時には、興味が湧き、会津若松城を見に行きました。最近の大河ドラマでは、放送が終了しましたが、『**麒麟がくる**』にハマってしまいずっと観ていました。明智光秀に**焦点を当てたドラマ**なのですが、皆さんは明智光秀にどのようなイメージがありますか？

一般的には裏切り者のイメージが強いかもしれませんが、ただ、ドラマを観て、私はイメージが変わりました。明智光秀と言えば【本能寺の変】があまりにも有名ですね。



明智光秀と織田信長

織田信長の暴走を止めるために、明智光秀は迷いに迷って織田信長を討つことを決めたのだと思えます。



きっと、明智も織田も長い戦を終わらせたいという想いは一緒だったことでしょう。

『麒麟がくる』を観て、岐阜県にも行ってみたいくなりました。自分の目で見るとまた違うものが見えてくるかもしれません。

今はまだ、コロナで旅行は行けませんが、落ち着いたら、岐阜旅行を楽しみたいと思えます。

今年は、弘前も新しい様式で桜祭り、ねぶたまつりを開催するようですから、楽しみです。皆さん、感染対策をしっかりと体調管理に気を付けながら元気に過ごしていきましょう。次回は同期である、環境整備課の古川俊さんをお願いします！

4月の歳時記

弘前では待ちに待った**桜祭り**が、**4月23日から開催**されるようです。昨年はコロナの非常事態宣言を受け、弘前公園のすべての門が閉門され、公園が閉鎖されました。この事態は弘前市の過去の記録にもなかったことで、市民にとって、非常に衝撃的な出来事になったようです。

弘前さくらまつりの開催へ、青森県弘前市など主催4者は、感染拡大防止策として弘前公園内での飲酒や食べ歩きを規制し、酒類販売も行わないことを決め、決められた飲食エリア内は少人数での食事を認めました。そして、祭り期間中の市内の飲食店利用を促す目的で、公園有料区域の入場者には、飲食店の割引クーポンを配布することも示した、ということです。

【編集後記】

今年も早4月。今年は雪が消えるのが早かった気がしますませんか？ 温かい陽気は、心もうききしてきますね。この「今」を楽しみましょう(^^)

ワンポイントアドバイス ～病棟でのコロナ対応

こんにちは。2病棟です。500名以上の患者さんが透析をしている当院で、新型コロナウイルスの感染者が出たら、どう対応していくのかを昨年末に話し合いました。以下、今までの経過をお話します。

発熱の患者さんの入院は2病棟で対応することになりました。病棟内の一部をビニールで仕切り、他の患者さんと接触しないように隔離をします。発熱の原因は様々ですが、それが新型コロナウイルス感染症ではない！と、**はっきり否定**しなくてはなりません。発熱で入院する患者さんは、隔離したうえで、PCR検査を受けてもらいます。結果が出るまで1日以上かかるので、その間は部屋から出ることはできません。透析もその部屋で行います。

PCR検査の結果が陰性と確認されれば、医師の指示で隔離は解除となりますが、**結果を待つ間は本当に緊張**します。

1月後半、当院で初の陽性の患者さんが出ました。症状は軽かったのですが、重症化や、院内感染、家族への2次感染など、対応するスタッフには緊張感や恐怖感が走りました。部屋に入るスタッフは固定とし、その日は陽性の患者さんだけに対応します。記録も休憩も、他のスタッフと接触を避け、違う部屋で過ごしてもらいました。



幸い患者さんは重症化することなく、11日後に退院となりましたが、患者さんにとって『隔離』という環境は入浴も出来ず、自由が奪われ、大変なストレスであったと思われました。しかし、感染を広げないという目的は果たせ、担当したスタッフのPCR検査も陰性を確認できた時は、本当にほっとした瞬間でした。



3月に入り、**PCR検査が院内で可能**になりました。結果がすぐ出るので、患者さんが、発熱で隔離入院することはなくなりました。

しかし、全国的に感染者が増えています。感染した方の後遺症の話を知ると、感染しないのが一番です。

今後もマスクの着用、手指衛生の励行で感染予防対策をしっかりしていきましょう。



昨年の閉門の様子

